

令和8年（2026年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和8年6月10日（水）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	前田 千尋 (日本共産党)	1 防災行政について	今回の台風6号における本市の避難所対応について問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 中心市街地と防災について	(1) 台風6号による商店街・アーケードへの被害を問う (2) 第一牧志公設市場とてんぶす那覇の大型ビジョンは、緊急の防災にも対応できるようにすべきである。現在の状況と見解を問う
		3 中心商店街と環境行政について	市民より中心商店街にある近隣の飲食店からと思われる大量の瓶がマンション前に不法投棄されることが続いているとの苦情の声がある。また、別の市民からも他店のごみが店先に捨てられていることがあり困っている。那覇市はごみの不法投棄を解決してほしいとの訴えがある。早急に解決すべきである。問題解決に向けた本市の対応を問う
		4 「校内自立支援室」の拡充について	(1) 県との連携で本市の「校内自立支援室」を存続・継続できたことを評価している。新年度の状況を問う (2) 校内自立支援室学習支援員と教育相談支援員の役割と配置について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 児童生徒の 眼鏡・コンタ クトレンズ購 入費用につい て	2009 年 9 月定例会から、就学援助制度の項目に、眼鏡とコンタクトレンズの購入費用と検査費用の追加を求めてきた。学校の身体測定で、視力の再検査を通知されても、経済的な理由により、検査に行くことを諦め、眼鏡やコンタクトレンズを購入できない児童生徒がいる状況を明らかにし、子どもの貧困を無くし、全ての児童生徒が安心して教育を受けられる当たり前の環境を実現するためにも、身体の一部となる眼鏡やコンタクトレンズは、せめて就学援助制度の項目として、購入費用と検査代の追加をすべきだと 2009 年 9 月定例会から一貫して求め続けてきた 今年度より、企業の協力により小学生を対象とした眼鏡購入助成の実現を評価する。事業の概要を問う
		6 学校給食に ついて	首里学校給食センターで 4 月に入って 2 回にわたり、調理場内に野鳥が侵入するトラブルが発生した。これにより、児童生徒の給食に大きな影響が出た。小学校 1 年生は初めての給食でもあった。野鳥侵入による影響と対策を問う
		7 都市計画行 政について	本市が行った「景観に関する重点地区アンケート調査」の取組と調査結果を問う
		8 公園行政に ついて	今年も 6 月 23 日の慰霊の日が訪れる。沖縄戦で犠牲になられた多くの命を思い、平和への願いを次世代へ引き継ぎ、実現するための大切な日でもある 毎年、旭ヶ丘公園にある海鳴りの像では戦時遭難船舶被害者の慰霊式典が行われている。これまで本市には、安心・安全な公園整備を依頼し実現してきた。今年度の式典に向けた対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	村 上 ゆうじ (れいわ那覇ぬちぐる)	1 平和教育について	文部科学省は同志社国際高校の辺野古新基地建設現場での平和学習プログラムが「政治的中立に反する」という理由で教育基本法違反と認定した。これは「教育は不当な支配に服することなく行われなければならない」とする同法第 16 条に文科省自身が違反していると思われるが、見解を伺う
	質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	2 普天間飛行場の返還条件とされる長い滑走路について	「５年から７年以内に普天間基地を返還する」という 1996 年の日米合意から 30 年もの歳月が経った今年の 2 月、米国防総省が「長い滑走路を日本側が選定するまで普天間は返還しない」との方針を示した。普天間の 2,700 メートルに対し辺野古新基地は 1,800 メートルと短い。沖縄島では唯一、3,000 メートルと 2,700 メートルの滑走路を持つ那覇空港が条件を満たしている。那覇空港が軍事に使われる可能性について見解を伺う
		3 有事の際の避難計画について	(1) 国は、宮古、八重山地方 12 万の住民を九州と山口県へ避難させる計画を進めているが、全く現実味が無く、無理難題を押し付けられ翻弄される人々の声が新聞などで連日伝えられる。配慮が必要な人はどうするか。財産や家畜、仕事、全部捨て避難したところで生活などしていけないと、避難を諦める人も少なくない。そのような中、米軍基地が集中する沖縄島の住民は「屋内避難」とされているが、見解を伺う (2) 沖縄タイムスが行ったアンケートでは県内 6 割の市町村が避難計画に「不十分」だと答えたが、那覇市の回答は「どちらかといえは十分」と実効性を評価した。具体的に「緊急 1 次避難施設」とされるものの内容を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 「子ども・子育て支援金制度」について	「子ども・子育て支援金制度」が4月から始まった。これは少子化、人口減少への対策とされ、出産時の普通分娩無償化や、妊婦への給付金などが含まれる。そのために今年度は6,000億円が国民全体の負担として徴収されるが、各保険者の加入者1人当たりの負担額を伺う
		5 エネルギーの自給について	アメリカ、イスラエルとイランの戦争によって、石油など化石燃料の輸入に依存している日本のエネルギーへの影響が大きい。地球温暖化対策として、また安全保障の観点からも、再生可能エネルギーへの転換が世界中で進んでいるが、那覇市の取組を伺う
		6 水の自給率向上について	昨年11月、本島北部の導水管破損により本市にも大きな影響が出た。ダム貯水量の減少や、水道管の老朽化が進む中で、北部から長いパイプを通して水を運ぶ現在の仕組みから、自給できる形に改善すべきだと考えるが、見解を伺う
		7 商店街アーケードの台風被害について	先日の台風6号により商店街アーケードに大きな被害が出た。老朽化対策も必要。自然災害に襲われる度にお金を使い修復を繰り返すのではなく、未来への投資と考え、頑丈なものに作り替えるべきではないか。那覇市としても、観光や経済発展のためにも魅力的な商店街作りに積極的に参加すべきだと思うが、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	比 嘉 啓 登 (なは自民・無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 GW2050 P R O J E C T Sについて 2 子どもが主 役の「こども としょかん」 について 3 I T創造館 について 4 市立病院の 高度専門医療 の充実につい て 5 路線バスの 利便性向上に ついて	沖縄の未来の発展に向けて県内経済界が主導 で進めているGW2050 P R O J E C T Sに、那覇 市、浦添市、宜野湾市も協力・連携し、構想が進 んでいる状況である。５月２８日にはGW2050 P R O J E C T S推進協議会が成長戦略を提示し たところであるが、今後の那覇空港機能強化の展 望、基地返還跡地の一体開発の検討状況と今後の 取組方針を問う 子ども自身が利用しやすく、学び、遊び、交流 し、成長できる公共空間として図書館を再設計す る取組に読谷村立図書館での子どもが主役の「こ どもとしょかん」がある。那覇市でも子どもにも 開かれた図書館づくりが積極的に行われている ところであるが、読谷村のような更なる多用途・ 多機能の図書館づくりに向けて、どのように考え ているか問う リニューアルに向けた民間活用の検討状況と 今後の取組を問う 市立病院の高度専門医療の充実について、どの ような取組を行っているか問う 那覇市内において路線バスは、高齢者、学生、 観光客、車を持たない市民にとって不可欠な移動 手段であり、都市機能を支える重要なインフラで ある そこで本市として、路線バスの課題は何か、今 後どのような取組を行う方針か市の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 宿泊税導入 を見据えた那 覇市の観光資 源確保と持続 可能な都市運 営について	沖縄県において観光目的税としての宿泊税が導入され、令和9年2月からの課税開始が予定されているが、初年度となる2027年度は、税を独自導入しない35市町村のうち那覇市が約7億円と最多との報道があった。那覇市は県内最大の宿泊集積地であり、観光客の集中に伴い、清掃、交通、治安、救急、都市基盤維持など、他市町村に比して大きな追加行政需要を恒常的に負担している こうした状況を踏まえ、以下問う (1) 県宿泊税への対応方針 (2) 観光による受益と負担の適正な関係構築について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 地 貴 大 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 道路行政について	(1) 古波蔵交差点周辺の歩行環境及びバリアフリー環境に対する本市の認識について伺う (2) 道路附属物の維持管理について、昨年 11 月定例会において、本市は道路附属物の適切な維持管理に取り組んでいるとの答弁であった 一方で、道路附属物の老朽化に関する調査では、沖縄県が２年連続で全国最も高い認知状況となっている この結果を踏まえた本市の認識について伺う
		2 教育行政について	(1) 小中学校における特別支援教育補助員の配置状況・配置基準及び学校現場における課題について伺う (2) 通常学級に在籍し支援を必要とする児童生徒への支援体制について伺う (3) 特別支援教育補助員の処遇改善・人材確保及び今後の配置計画について伺う
		3 A E D の設置状況について	本市小中学校には A E D が設置されていると認識しているが、隣接する学童や地域学校連携施設への A E D 設置状況はどのようなになっているか伺う
		4 犯罪被害者支援条例の制定について	昨年の 11 月定例会では令和 8 年度中の制定を目指すとのことであったが、現在の取組状況及び今後の条例施行までの取組について伺う
		5 観光行政について	(1) 本市におけるナイトコンテンツの現状と今後の方向性について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 中心商店街におけるナイトコンテンツの活用による回遊性向上とにぎわい創出で夜間の防犯及び治安対策につなげられないか本市の見解を伺う (3) 持続可能な観光に向けた本市の考え方について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	喜屋武 幸 容 (立憲民主・ニライ)	1 琉球人遺骨返還について 2 災害時の安全管理体制について 3 過剰なクレーム対応について 4 公園管理について 5 公共交通利用環境について 6 学校給食について	国際社会においては、人骨や埋蔵品を研究目的として収集・所蔵してきた歴史的な不正を正し、地域の人々の尊厳を取り戻すために、先住民族へのご遺骨の返還が進められている。本市の取組状況を伺う 先日の台風６号発生により市内全小中学校が６月１日と６月２日を臨時休校とした。一方で保育園やこども園、放課後児童クラブへは行政側からどのような対応を求めたのかを伺う 保育園やこども園、放課後児童クラブ等における保護者からの過剰なクレーム(カスタマーハラスメント)について行政としてどのように対応しているか現状を伺う 指定緊急避難場所に指定されている識名の大石公園について以下伺う (１) 清掃・美化活動について地域自治会等との連携状況 (２) 避難設備や備蓄倉庫の整備状況 新真和志複合施設建設事業と与儀公園再整備事業において公共交通の利用に関してどのような利便性・快適性をデザインしているかを伺う ４月に２度の野鳥侵入により提供メニュー変更を余儀なくされた、首里学校給食センターにおける当時の状況と対応策の現状を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	瑞慶覧 り か (無 所 属) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 文化観光政策について	11月23日に予定されている首里城正殿の一般公開を契機として、首里地域へのさらなる来訪者の増加が見込まれる。この機会を地域の魅力向上や活性化につなげるためには、観光文化施設における受入環境の充実と、首里城を中心とした周辺文化財施設との連携強化が重要である 一方で、首里地域においては交通渋滞や駐車場不足、生活道路への車両流入など、観光客の増加に伴う地域住民の生活環境への影響も懸念されている。今後、観光と住民生活との調和を図りながら「誰もが安心して移動しやすいまちづくり」を進めるためには、観光客と地域住民の双方に配慮した移動環境の整備が重要であると考え そこで以下伺う (1) 文化財課所管施設における観光受入環境の整備について、中城御殿（なかぐすくうどうん）、玉陵（たまうどうん）、識名園、壺屋焼物博物館などにおけるキャッシュレス決済の導入状況と進捗、また、案内表示や音声ガイド、パンフレット等の多言語対応の現状及び今後の取組について伺う (2) 首里城及び玉陵をはじめとする文化財施設の周遊促進に向けた共通入場券の導入について、これまでの検討状況と課題、今後の方向性について伺う (3) 首里地域における観光客と地域住民の双方にとって利便性の高い移動環境の実現に向け、交通課題の解決にどのように取り組んでいく考えか伺う (4) 夜の首里城におけるプロジェクションマッピングについて、観光客の分散化、交通渋滞の緩和など、地域課題の解消にも資する取組として今後の継続的な取組の可能性について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 E Vを活用した避難所機能強化について 3 戦争遺跡を活用した平和教育の推進について 4 那覇軍港の返還について	(1) 本市が締結しているE V・P H E Vを活用した災害時協定の内容及びこれまでの活用実績について伺う (2) 避難所となる学校施設における非常用電源の現状及び課題認識について伺う (3) 公用車におけるE V車の台数と割合について伺う (1) 本市における戦争遺跡について、現況及び平和学習への活用の取組について伺う (2) 小禄田原公園におけるカテーラムイ(寿山)旧海軍壕について、その歴史的価値と保存・管理状況及び平和学習への活用状況について伺う 那覇軍港については、平成25年2月定例会において、翁長雄志元市長から早期返還を求める答弁がなされている 那覇軍港の利用実態及び今後の返還について市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	上里 ただし (みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 学校給食について 2 中学校部活動指導員について 3 下水道整備及び市道認定について	今年度から小中学校の給食費無償化が実施され、学校給食は市民の税金によって支えられる事業となった。子どもたちの健全な成長のため、学校給食摂取基準を満たすことを前提としながら、残食を減らし、食品ロスの削減と効率的な予算執行を図ることは事業を進める上で大事な視点となっている そこで、以下、伺う (1) 学校給食摂取基準を満たすための栄養士による意見交換において、どのような意見や提案があったのか。またそれらに対する本市の対応について伺う (2) 令和7年度における小中学校の学校給食用牛乳の調達額、残量率及び残量となった牛乳相当額について 部活動指導員は本市の会計年度任用職員として、部活動における教員の負担軽減を図るとともに、生徒への専門的な指導を担っており、各校におけるニーズも高い。一方で、配置人数には限りがあり、指導員を希望する人材がいるにもかかわらず、採用に至らないケースもあると聞いている。本来なら更なる増員をすべきである 本市における部活動指導員の配置状況、同一校における複数年勤務の実態及び現在の募集・採用手続並びに活動を希望する人材をどのように活用していくのか伺う 開邦高校近隣の首里鳥堀町4丁目及び首里石嶺町2丁目には下水道未普及地域が残っている。また、地域内には農道石嶺1号線があるものの、そのほとんどが私道や住宅供給公社が管理する道路であり、地域住民から市道化を求める声もある。そこで、下水道整備及び市道認定の進捗と今後の取組について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 虎瀬公園整備における周辺地域への影響について	現在進められている虎瀬公園整備事業について、整備に伴う地下水脈の変化などによる周辺地域への影響を懸念する住民の声がある。本市はこうした声をどのように把握し、住民意見を踏まえた影響調査や状況確認を行っているのか。また、住民の不安解消に向けた今後の対応について伺う
		5 首里城正殿復元と観光まちづくりについて	(1) 首里駅改札口周辺の観光案内図は、首里城や周辺の施設や史跡への周遊を促す案内として十分とはいえないことから、これまで改善を提案してきた。観光客の利便性向上と周辺地域への回遊促進に向けた本市の取組状況について伺う (2) 園比屋武御嶽石門(そのひゃんうたきいしもん)の保全について世界遺産である園比屋武御嶽石門(そのひゃんうたきいしもん)では、観光客が石段を土足で上り、写真撮影を行う姿が見受けられる。文化財及び聖域としての保全の観点から、本市の認識と対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	糸 数 たかこ (うない・にぬふあ)	1 男女共同参画について 2 教育行政について 3 プレミアム付商品券について 4 情報セキュリティ対策について 5 会計年度任用職員の処遇について	女性管理職の登用について、那覇市の女性管理職比率は県内市町村中５位（令和６年４月現在）となっている。県都としての現状認識並びに女性登用推進に向けた課題について伺う 教育相談支援員について、不登校児童生徒やその保護者への支援を担う重要な人材である一方、人材確保に苦慮している状況も見受けられる。持続可能な相談支援体制の構築に向け、以下伺う (１) 教育相談支援員の役割について (２) 教育相談支援員の人材確保及び処遇について 那覇市プレミアム付商品券「なはんちゅPAY（電子版）」について 県内他市における物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用状況及び本市の事業手法との比較・検証について伺う 浦添市において、個人番号を含む住民情報が保存されたパソコンの紛失事案が発生したことを踏まえ、過去の事故等の発生状況及び本市の情報セキュリティ対策について伺う 会計年度任用職員としての勤務経験を評価し、正職員採用やキャリア形成につなげる仕組みについての考えを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	西中間 久 枝 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 障害者雇用促進法の遵守について 2 障がい者に配慮した選挙事務について 3 魅力ある那覇市づくり経済行政について	障害者雇用促進法について 障がい者雇用ビジネスを展開する業者の仲介で企業に直接雇用された在宅勤務の障がい者が、実質的な仕事を与えられず、業者とチャットなどで簡単なやり取りをするだけで事実上放置されるケースが相次いでいたことがわかった 障がい者の法定雇用率（現在は従業員数の2.5％）を満たす為に企業が、給与を支払って、障がい者を形だけ雇い、就労管理を業者に丸投げしていた現状が明らかとなった 障がい者が能力を発揮できる環境整備を求めた障害者雇用促進法の理念を逸脱している疑いがある。国は障がい者虐待の一つに「放置」を挙げている。見解を問う 参政権の保障について 厚生労働省は昨年の参議院議員選挙を前に、自治体の障害保健福祉主管課に対し、障がい者に配慮した選挙制度に関する事務連絡を出した。障がい者が投票所に行くために重度訪問介護、同行援護、行動援護などの障がい福祉サービスを利用できるとして協力を求めた また、総務省が全国の選挙管理委員会に、障がい者を介護する人など、やむを得ない事情があると投票管理者が認めた人は投票所に入れること、障がい者に配慮した選挙事務の好事例を周知していることも記した。見解と対応を問う (1) てんぶす那覇について、伝統芸能、エンタメ業界などを応援する立場で那覇市が取り組むことが求められている。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 職員の待遇 改善について	(2) 令和7年度那覇市民意識調査報告書において、「国際通りマチグラー等、中心市街地商店街を魅力あるものにするにはどのような方策が必要だと思うか」との問いに、最も多かったのは「気持ちよく利用できるトイレや休憩施設を増やす」と調査結果がでた。見解と対応を問う (3) 奥武山地域スポーツ観光交流拠点整備事業の進捗を問う (1) 子育て部分休暇の導入について 職員の子育て部分休業は法に基づく就学前に限られ、小学校入学後はキャリアの継続すら困難だとの声がある（小1の壁）。非常勤を含め、就学後も時短を認める子育て部分休暇の導入が不可欠であり、那覇市でも導入すべきである。見解を問う (2) 女性相談支援員等の処遇改善について 性売買やDV（配偶者らの暴力）の被害を受けた女性支援の中核を担う女性相談支援員について、国は2024年に、初となる都道府県別での平均時給の調査結果を公表した 支援員は全国に1,595人（2023年4月時点）おり、うち非正規職員が約9割を占めている 調査は2024年4月時点で2年以上働く1,058人を対象に、正規・非正規、経験年数、4月の給与などを聞き、平均時給が1,546円（手当、残業代は含めず）になった。正規職員（108人）の平均時給は2,006円になる一方、非正規職員（950人）は1,496円。その最安値は青森県の1,223円、最高値は東京都の1,793円で、正規・非正規間、地域間での格差も示された。2年以上働く正規職員を配置しているのは14都府県にとどまっている また、非正規職員の経験年数は平均8年7か月で経験年数8年の支援員に対する国庫補助基準額（期末手当加算を除く）は時給

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			1,576 円、これを満たしたのはわずか5都府県で、多くの自治体で国の基準額を下回る結果となり、支援員の劣悪な待遇が浮き彫りとなった 全国女性相談支援員連絡協議会などが繰り返し求めてきた課題で実態掌握に基づく処遇改善が必要である。見解を問う
		5 防災危機管理について	災害時における応急仮設住宅の提供等について、見解と対応を問う
		6 道路行政について	首里金城町石畳道（シマシービラ）のがけ崩れについては、これまで何回も取り上げてきた。倒木も何度も起きる等、事故につながりかねない。事故を防止するためにも、早急な対応が必要である。見解を問う
			【答弁を求める者】 選挙管理委員長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年６月１０日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	嘉手川 こうた (なは自民・無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子どもへの性暴力防止について 2 学校給食について 3 児童生徒への紫外線対策について 4 那覇文化芸術劇場なは一とについて 5 職員表彰について	(1) ２月定例会での一般質問で取り上げた、部活動等の外部指導者への文書での禁止事項確認や、児童生徒や保護者へのグルーミングに関する周知等に対する、具体的な取組状況を伺う (2) 学校のトイレや更衣室等における子どもたちの安全確保、および卑劣な盗撮行為を防止することの重要性について、本市の認識を伺う 学校給食の衛生管理及び安心・安全な給食の提供に対する、本市の認識を伺う (1) 学校保健安全法に基づき、児童生徒が心身ともに健康かつ安全に学校生活を送り、健康被害のリスクから適切に守られる教育環境を整備することに対する、本市の認識を伺う (2) 全国的にも極めて厳しい紫外線環境にある本県において、児童生徒の目や皮膚の保護を目的とした紫外線対策に関し、本市の取組状況を伺う 那覇文化芸術劇場なは一とにおける、市民や利用団体に対するスタッフの対応及び市民サービスの在り方について、本市の認識を伺う 那覇市職員表彰規程第２条第３号に定める「職員全体の名誉を高め、信用を増加する行為があった者」の表彰に対する本市の認識を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 分かりやすく伝わる行政文書の推進について	昨年9月及び11月定例会での一般質問で取り上げた、分かりやすく伝わる行政文書の推進に関し、文書事務の手引き等の見直しに対する、具体的な取組状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長